

平成 25 年度 事業 報告 書

① 学術講演会等の開催（公益目的事業 1）

- ・平成 25 年度通常総会を下記のとおり行った。

日 時	平成 25 年 5 月 16 日
場 所	タワーホール船堀（東京都江戸川区） 参加数 1,063 名
議 案	平成 24 年度事業報告および同決算報告 平成 25～26 年度役員を選出

- ・第 105 回日本食品衛生学会学術講演会を下記のとおり行った。

開催日	平成 25 年 5 月 16 日、17 日
場 所	タワーホール船堀（東京都・江戸川区）
学術講演会 一般演題	37 題
受賞者講演	5 題（学会賞 1、学術貢献賞 2、奨励賞 2）
特別講演	1 題
教育講演	1 題
シンポジウム	2 テーマ 9 題
参加者数	約 600 名
懇親会 参加者数	約 200 名

- ・第 106 回日本食品衛生学会学術講演会を下記のとおり行った。

開催日	平成 25 年 11 月 21 日、22 日
場 所	沖縄コンベンションセンター（宜野湾市）
学術講演会 一般演題	54 題
ポスター発表	99 題
特別講演	2 題
教育講演	1 題
シンポジウム	1 テーマ 4 題
学会活性化委員会第 2 回シンポジウム	2 題
参加者数	約 530 名
懇親会 参加者数	約 250 名

- ・日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会主催

「ifia JAPAN2013・食の安全・科学フォーラム 第 12 回セミナー」を下記のとおり行った。

[テーマ：現場で使える食品安全管理システム]

日 時	平成 25 年 5 月 15 日
場 所	東京ビッグサイト 参加者数 約 100 名

- ・第 16 回特別シンポジウムを下記のとおり行った。

開催日	平成 25 年 9 月 27 日
場 所	東京証券会館

テーマ 食品の安全性確保における国際統合化に向けて
演題数 5 題
参加者数 133 名

- ・公開講演会を下記のとおり行った。

開催日 平成 26 年 2 月 7 日
場 所 東京証券会館
テーマ 魚介類アレルギーを理解するために～アレルゲンの本体と性状～
演題数 1 題
参加者数 203 名

- ・平成 25 年度の厚生労働科学研究（食品の安全確保推進研究）シンポジウムを下記のとおり行った。

開催日 平成 26 年 2 月 7 日
場 所 東京証券会館
テーマ 食品の安全を考える
演題数 3 題
参加者数 203 名

- ・「食品衛生研究者育成プログラム」
第 1 回食品衛生研究者育成基礎セミナー

開催日 平成 26 年 2 月 1 日
場 所 国立医薬品食品衛生研究所 講堂
参加者 99 名

- ・関連学会等との共催および協賛を下記の通り実施した。

共催 第 61 回質量分析総合討論会（2013. 9. 10-12）、日本食品照射研究協議会第 49 回大会（2013. 11. 29）

協賛 残留農薬分析 Q&A セミナー（2013. 7. 25）、標準化と品質管理全国大会 2013（2013. 10. 3-4）、第 49 回熱測定討論会（2013. 10. 31-11. 2）、第 11 回食品安全フォーラム（2013. 10. 25）、日本包装学会第 22 回年次大会（2013. 7. 9-10）、フォーラム 2013: 衛生薬学・環境トキシコロジー「健康の維持・増進と健康障害因子：実態調査から分子機構解析」（2013. 9. 13-14）

② 学会誌等の発行（公益目的事業 2）

- ・学会誌等を下記のとおり発行した。

食品衛生学雑誌（6 冊）	第 54 巻 2 号～6 号	発行部数	2, 300 部
	第 55 巻 1 号	発行部数	2, 450 部
第 105 回学術講演会要旨集		発行部数	1, 000 部
第 106 回学術講演会要旨集		発行部数	1, 000 部

③ 研究業績に対する表彰（公益目的事業 3）

- ・平成 25 年度日本食品衛生学会賞等授賞式を下記のとおり行った。

「学会賞受賞者」

藤井建夫（東京家政大学）

「水産食品の腐敗・食中毒微生物に関する研究」

「学術貢献賞受賞者」

笠原義正（山形県衛生研究所）

「植物性自然毒による食中毒の解明および毒成分の分析法確立に関する研究」

工藤由起子（国立医薬品食品衛生研究所）

「腸炎ビブリオの魚介類での汚染実態の解明および生残性の解析に関する研究」

「奨励賞受賞者」

柴原裕亮（日水製菓(株)）

「アレルギー表示対象魚介類のELISA検知法の開発に関する研究」

真野潤一（(独)農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所）

「遺伝子組換え農産物の多様化に対応した新規分析法の開発に関する研究」

④ 若手研究者育成事業（公益目的事業 4）

- ・平成 25 年度厚生労働科学研究(食品の安全確保推進研究事業)の補助事業者として若手研究者（リサーチ・レジデント）1名の継続と1名を新規採用した。